

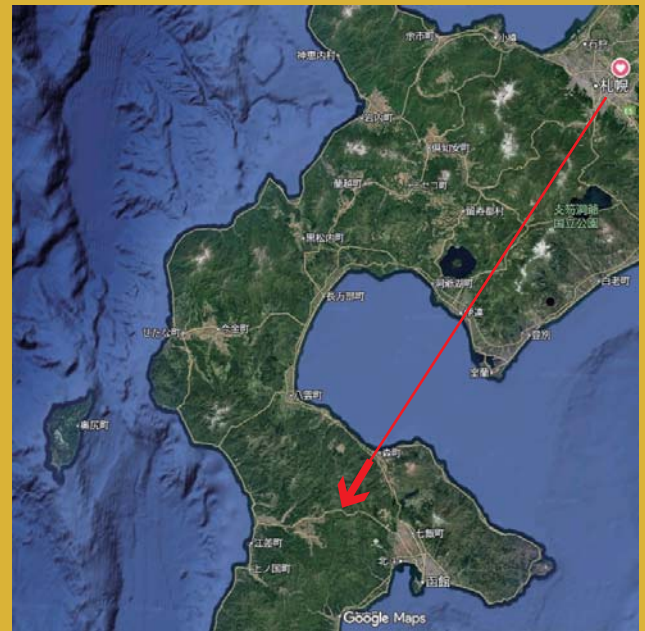
# COSTMER'S VOICE

## 車屋さんと保険屋さんとレッカー屋さんのチームワーク

お正月のある日、お客様から事故のご連絡。

事故現場はお住まいの場所から  
200Km 以上離れた地。

事故で車は自走ができないほどの損傷。



事故が起きた事だけでも気持ちが沈むなか、これから  
やらなければならない事を思うと不安と憂鬱な気持ちが。



そんな状況で事故の一報を頂き、我々は 200Km の  
遠隔地に走れるレッカー屋さんの手配。

お正月の本当であれば休日を楽しみたいのに二つ返事  
で現場にかけつけてくれる事を了承してくれる仲間。

次に車を引き揚げて来たら、次はお客様の車の修理と  
修理期間乗れる車の手配。車を購入した車屋さんに  
連絡すると事故車両の受け入れ態勢を準備し、代車も  
至急手配するとこれも二つ返事で問題無し。



次に問題は事故場所に目印が無く、どこにいるのか  
分からない。あいにくGPSや自分の位置を調べる  
ツールが無く、道道 63 号線上にいるという情報だけ。

そこで車の場所から風景の写真を撮影してもらい  
保険屋は googleMAP で事故場所を特定し、  
レッカー屋さんに位置情報を連携し無事に車のレスキューに成功。



送って頂いた実際の画像

お客様は事故から大変長い時間がかかってしまいましたが  
無事に代わりの車を受け取りご帰宅されました。

事故の解決や車の修理までには少し時間もかかりますが  
お客様と関係したみんなのチームワークで最大の難関は  
超えることができました。



お客様からは

「新年早々に事故対応、代車の手配、色々ご対応くださり  
ありがとうございました。無事に帰宅できました。  
本当に感謝です」

とお言葉を頂きました。

我々はこのような難しい場合も、一緒に戦える仲間と情報を共有し、  
お客様の問題に向き合っていきます！